



またも黒塗り資料

北斎場の指定管理者資料

市は、岡山北斎場の指定管理者を新潟の富士建設工業に決定しました。党市議団の求めに対し、市が議会に出した資料は、57箇所が黒塗りでした。

所もありません。落選した2グループは合計点しかなく、富士建設工業の提案のどこが評価されて決定されたのかもわかりません。

強行してきた事業です。市は、住民に丁寧に説明すると繰り返して言ってきましたが、黒塗りだらけの資料では、市民軽視と言わざるを得ません。

事業者の事業実績や環境保護の取り組みの実施内容、さらには何について書いているか自体がわからない箇所

北斎場はそもそも地元合意形成に問題がある上に、産廃跡地であることや環境への影響など、地域住民が多くの不安を抱く中で市が

大森市政ではこれまでに、後楽館高校跡地売却の際にも黒塗り資料が出されました。

火葬炉トラブル時の対応が不明

安全性関連のようだが何について書いているか不明

排ガス目標値が不明

コロナ 第4波 検証し次に生かせ

岡山市でのコロナ感染の第4波は、人口あたりの新規感染者数が、東京や大阪の感染者数を上回った時期もありました。20代、30代の感染者が多く、家庭内感染が増えていることや感染源不明割合の高いことなどが特徴です。

党市議団は、有症者やその周辺だけの検査では感染は抑えきれないと指摘し、PCR検査の抜

本的拡大や無症状者の早期発見・隔離・保護などを繰り返し求めましたが、市はこれを無視しました。第4波は起こるべくして起こった「人災」です。

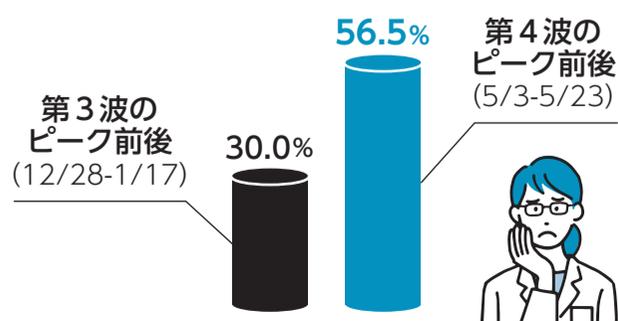
岡山県全体の検査能力にはまだ余力があります。今こそ、第4波の対応を検証し、次に生かすべきです。

コロナ支援策

新型コロナウイルスに対する支援制度やワクチン接種など、困りごとや相談は、党市議団にご相談ください。

TEL 803-1707 (市議団)

感染経路不明割合は激増



1日当たり検査件数



検査の抜本的拡大は可能

